危険を知る

想定に限界を知り、自然をあなどらないことが減災につながります。

津波以外にも危険はたくさん

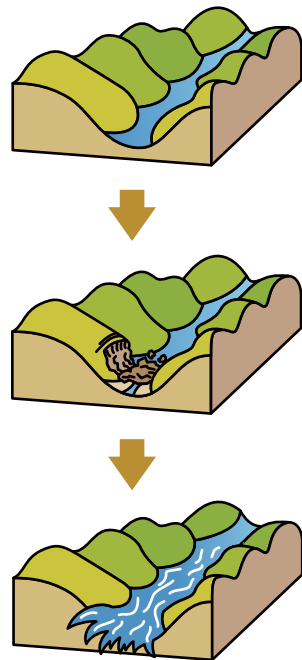
東日本大震災では、津波の被害が目立ちましたが、南海地震では他の大地震で起きたように、火災や土砂くずれ、建物の倒壊、さらには山津波など、さまざまな被害が想定されています。

山からの津波

地震の揺れで山の斜面が崩壊することによって、川がせき止められ、土砂ダムができます。土砂ダムの堰（せき）が耐えられなくなると、せき止められた水や土砂が一気に下流を襲います。

新潟県中越地震（平成16年10月23日）では、地震による大規模な土砂崩れで川がせき止められ、上流の地域が水没しました。

歴史をさかのぼると、香美市では、1788年に豪雨のために物部町久保高井で発生した土石流が、上韮生川をせき止め、長さ385メートル・幅126メートル・最深部38メートルの土砂ダムをつくり、田畑も水没。1815年に堰が決壊し、物部川は大洪水となって、香北町白石では人家が流され、土佐山田町下ノ村から下流で甚大な被害が出たという記録があります。

また、市内には、最大貯水量が1千トンを超えるため池が21あり、これらの決壊による浸水被害も想定されています。近くに対象のため池（表）がある地域の自治会および防災会へ、**ため池簡易ハザードマップ**を送付しています。地震災害などを想定し、ため池からの浸水被害の範囲や安全に避難できる経路や場所の確認をお願いします。

また、南国市植田地区にある神社池も決壊した場合、土佐山田町久次地区への浸水被害が想定されています。

図）山津波

表）対象のため池　単位：トン

名　称	所在地域	最大貯水量
舟谷池	土佐山田町船谷	115,000
古池		25,000
庄屋池		4,000
新池	土佐山田町宮ノ口	6,000
傍士池		3,500
池林下池		1,000
池林上池		1,000
本池	土佐山田町間	2,500
上池		1,000
新池		1,000
裏ノ池		2,000
大倉池	土佐山田町林田	15,000
前土居池	土佐山田町加茂	5,000
佐野池	土佐山田町佐野	19,700
牧場池		1,200
吹越池	土佐山田町仁井田	36,000
女夫池	土佐山田町油石	51,000
古田池	土佐山田町久次	30,000
神社池	南国市植田	25,500
平ノ池	香北町美良布	6,600
ひょうたん池	香北町韮生野	2,000
橋川野	香北町橋川野	1,000

※対象は最大貯水量1千トン以上の池

家屋の倒壊

阪神淡路大震災で亡くなった方の8割が建物の倒壊による圧死を原因としています。地震に備えて、まずは耐震診断を受けましょう。

特に昭和56年以前に建てられた建物は、耐震性に問題がある場合が多いといわれています。

耐震診断は、①地盤・基礎②壁の配置のバランス③壁の強さ④建物の傷み具合などのポイントについて、それぞれ調査します。その結果をもとに、必要な耐力に対する現状の耐力の割合を数値で評価することにより、建物の耐震性を総合的に評価することができます。

地震に弱い家の特徴

屋根が重い

地盤が悪い

基礎が弱い

壁の配置のバランスが悪い

壁の量が少ない

老朽化している

災害への備え

市では、大規模災害に備え、消防士の訓練を積極的に行い、災害時応援協定を各団体と結んでいます。

地震災害を想定した救出訓練

香美市消防本部では、5月11日～13日の3日間、解体工事前の市役所旧庁舎で、災害救助訓練を行いました。

写真説明

①屋上に取り残された人を救助。②1階に人が閉じ込められたと想定し、2階の床に穴を開けている。鉄筋を切断するなどして③のとおり、1階に降りられるように貫通させた。④人形を使って、建物内から救助し、救急搬送した。⑤本番さながら、旧庁舎前に本部を設置。トランシーバーを用い、救助に向かった隊員と連絡を取り、的確な指示を出す。

災害時応援協定

市では災害時に備え、救援物資の提供などの協定を各団体と結んでいます。

表）災害時応援協定一覧

団体名	協定内容
四国コカ・コーラボトリング株式会社	災害時における救援物資提供を行う。
南国建設業協会	早期災害復旧への協力を行う。
県内市町村	物資、労力等の相互応援を行う。
NPO法人コメリ災害対策センター	災害時に必要な物資供給を行う。
姉妹都市福井県あわら市	災害時に物資・人員等の応援を相互に行う。
株式会社　フタガミ	災害時に食料・飲料水・生活必需品の提供を行う。
香美警察署	香美警察署が甚大な被害を受けた場合に、市庁舎の一部を香美署施設とする。
（社）高知県エルピーガス協会嶺南支部	ＬＰガス・容器・燃焼器具の提供を行う。
県電気工事組合香長支部	公共施設等の電気設備の復旧・事故防止を行う。

Topic

香美市地区土佐山田町赤十字奉仕団が、日赤社資からの交付金で、**移動釜**を購入しました。6月14日に使用方法の説明も含めて、炊き出し訓練が行われました。

訓練には20人の参加があり、特殊なビニール袋に、米・梅干・水を入れ、湯を沸かした移動釜に入れて、米の炊き出しを行いました。

移動釜

このほか、香南市地区と香美市地区の奉仕団による合同大会も年に1回行われています。

同団の西村享子委員長は、「団員の高齢化が進んでいる。また、団員が少ないので、増強に努めたい」と話していました。

奉仕団の活動にご興味のある方はご連絡ください。

【連絡先】香美市地区赤十字奉仕団　西村享子　☎53−5553